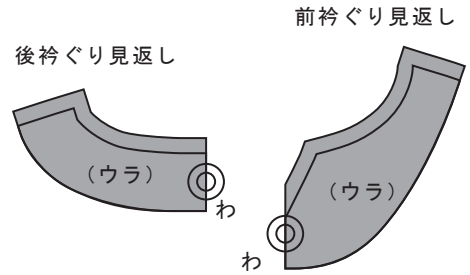
用意するもの

●布帛生地
60 ローン～ 80 ローン程度の、トップス用薄地素材
110cm 巾　S（1.4m）・M（1.45m）・L（1.5m）

●接着芯　少々

準備

●裁断パーツ６・合計枚（下図）
●前後衿ぐり見返しのウラ面に、接着芯を貼っておく（右図）
●以下の①～⑤に、印をしておく。

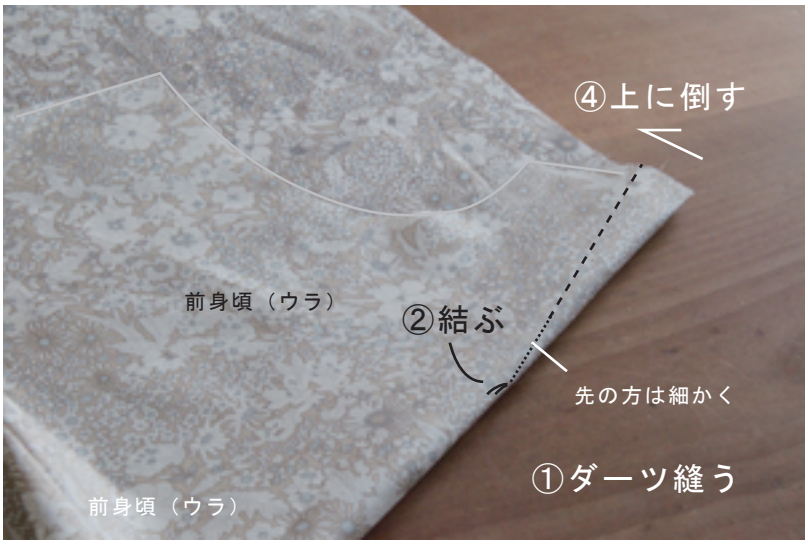


芯貼り

前後の見返し（ウラ）に接着芯を貼ります。前身頃ダーツ先、前後身頃脇と袖のスリットどまり、前中心のＶ字の部分（身頃、見返しとも）には、印を入れます。

前ページ参照

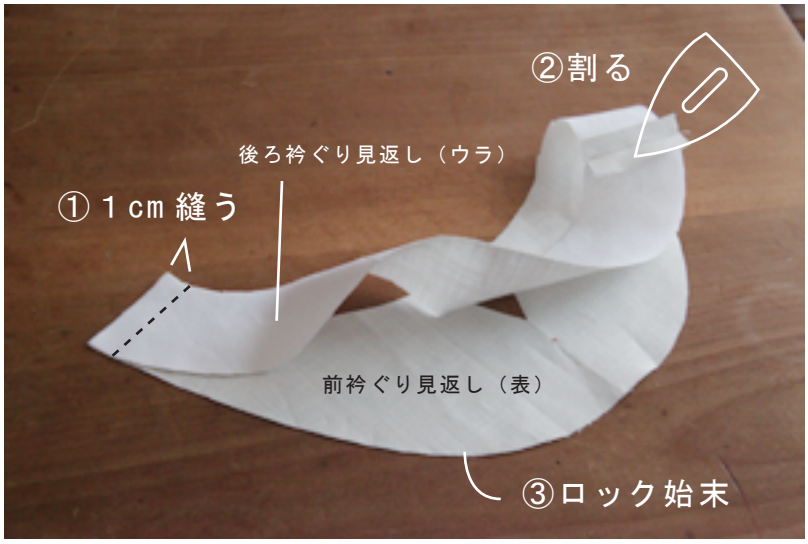
ダーツ



バストダーツを縫います。先の方は縫い目を細かくします。
糸の端は結んで始末し、縫い代は上側に倒します。

ダーツにアイロンをかけます。
脇からダーツ全体を潰すようにして内側に追いやる感じでかけていきます。

肩縫い



前後衿ぐり見返しの肩を中表に合わせて１cm で縫い合わせます。縫い代は割り、外回りを一周、生地の表側からロック始末します。

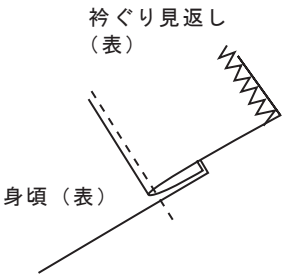
前後身頃の肩は、中表に合わせて１cm で縫い合わせます。
縫い代は２枚合わせてロック始末し、後身頃側に倒します。

肩縫い

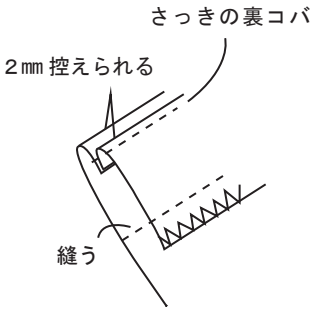
衿ぐり見返しと、身頃の衿ぐりを中表に合わせて、衿ぐりを 0.7cm で縫い合わせます。
前中心のＶのところはミシン目を細かくします

衿ぐりの縫い代のカーブがきついところに、できあがりギリギリまで切り込みを入れます。前中心も、縫い目ぎりぎりまで切り込みます。

裏コバ始末

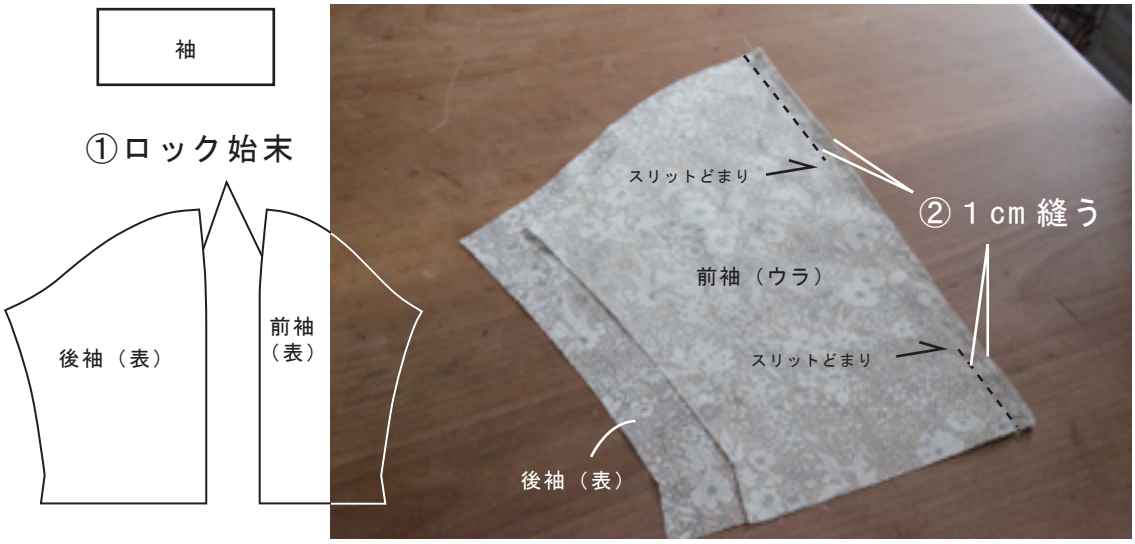


見返しと見返しの縫い代、身頃の縫い代の３枚重ねて、コバステッチします。
前中心のＶ字の部分は、ミシンが入るところまでステッチします。

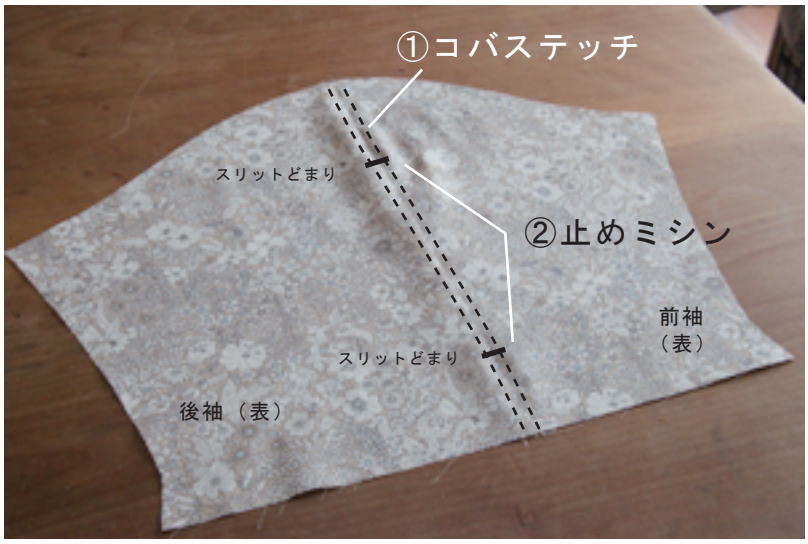


見返しをできあがりにアイロンで整え、見返し端を後ろ衿ぐりのみ、縫いとめます。
肩線の際に、生地の表から落としミシンします。

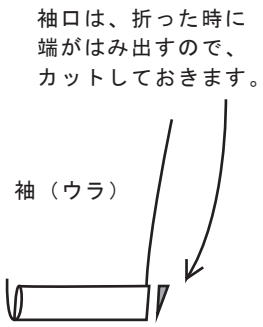
＊前衿ぐりにはステッチを入れない



前袖、後袖の切り替え線を、それぞれ生地の表からロック始末します。中表に合わせてスリット部分を残して１cm で縫い合わせます。縫い代は割ります。

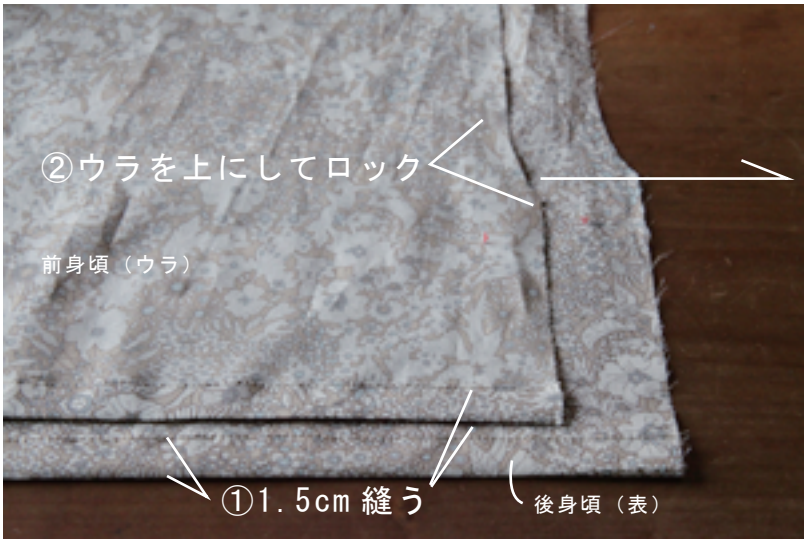


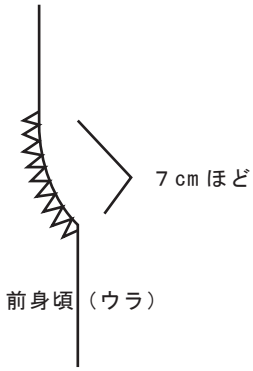
切り替えラインの両脇をコバステッチして、スリットどまりの位置で、止めミシンを入れます。



袖と身頃のアームホールを中表に合わせて１cm で縫い合わせます。縫い代は袖側を上にしてロック始末、身頃側に倒します。袖口はできあがりに、アイロンで折っておきます。

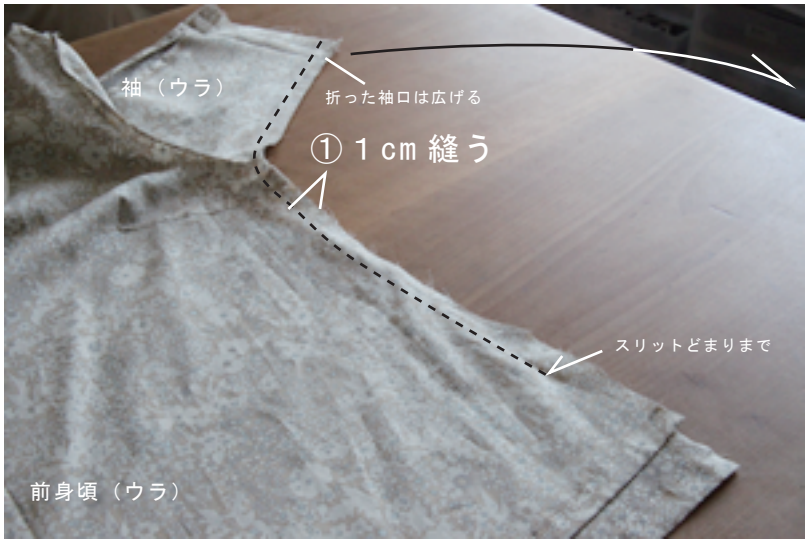
裾始末

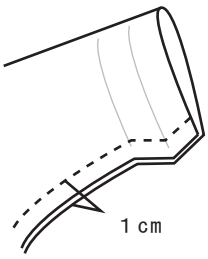




裾を 1.5cm 完全三つ折り始末します。前身頃のみ、脇のカーブのところを 7cm ほど、生地の裏側からロック始末します。

袖下～脇

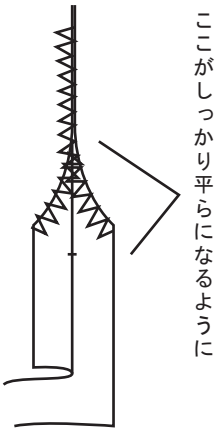




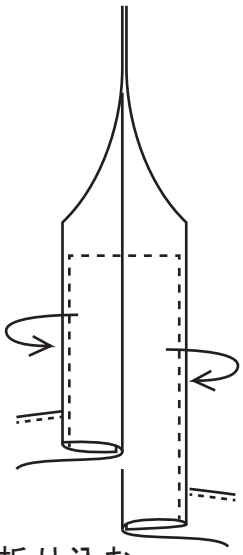
カットしたので袖口の
形状が変わります。
図のように縫います。

前後の袖下～脇を中表に合わせて、1cm で縫い合わせます。裾は前後で高さが違うので、前後のスリットどまりを合わせて、そこまで縫います。

脇スリット



袖下～身頃裾までの縫い代を、前身頃を上にしてロック始末します。身頃裾は分岐のところがしっかり平らになるように割って、かけるようにします。



①折り込む

脇スリットは端を内側に折り込んで、コの字に縫います。
袖口はできあがりに折って縫って、完成です。